既知の不具合

8.6版［2023/12/19作成］

平素，弊社製品をご利用くださり，ありがとうございます。
現時点で弊社が把握している各機種の不具合をお知らせいたします。

【WATCH BOOT nino】　型番：RPC-M2CS　最新FW：1.00E.220316

「サーバー連携機能」「ガードタイム方式」対応特殊FW：4.20A.230915

《1.00Eおよび4.20Aで未修正の既知の不具合［1.00D以前のFWではこの不具合は生じません］》

・NTPサーバー同期間隔を3580(×10分)以上に設定すると,数秒おきにNTPサーバーへの接続が行われる不具合。

《特殊FW:1.30A,4.00Aでは既に修正された不具合［1.00Eでのみ不具合は生じます］》

・NTPサーバーの設定欄に間違ったIPアドレスが指定されている状態で，本体の電源投入，もしくは[一度も正しく時刻取得できていない状態で]CPUリセットが行われると，ログ記録が開始されず，[Ping監視が設定してある場合]Ping監視が正常に動作せずに該当OUTLET LEDが点滅状態のままになる不具合。

【NTPサーバーに誤った「ネームアドレス」が指定された場合，またNTPサーバー設定欄が空欄の場合，上記の不具合は起こりません。】

【正しいNTPサーバーを設定して一度時刻取得ができた後，誤ったIPアドレスに指定し直してCPUリセットしても，この不具合は起こりません。】

《1.00Dで既に修正された不具合》

・「設置場所」の末尾に，SHIFT-JISで下位バイトが0x40の文字(例:機,院,邸,宗,①,'　'[全角ｽﾍﾟｰｽ]など)を入れると文字化けする不具合

《1.00Eで既に修正された不具合》

・リブーター側に設定するメールサーバーによっては，メール本文がヘッダー部分に入ってしまう不具合。

・メール制御結果通知メールがログ通知メールと同時に送信される時，（制御に使用されたメールアドレスではなく）「アドレス1」に設定されているメールアドレスに結果通知メールが届く不具合。

・NTPサーバーにホスト名で設定して運用している時，名前解決の際に複数のIPアドレスが知らされた場合，先頭のIPアドレスと紐付けされる。そこで，リブーターと相性が悪く，時刻同期が行えないIPアドレスと紐付けされてしまった場合，「NTPサーバー接続エラー」とログ表示され，またその後も時刻同期できない状態が持続する。（ログ表示は初回のみ。この状態が続く限り，NTP関連のログはその後出てこない。）

【WATCH BOOT Light】　型番：RPC-M5CS　最新FW：1.00F.220720

「サーバー連携機能」「ガードタイム方式」対応特殊FW：4.20A.230915

《1.00Fおよび4.20Aで未修正の既知の不具合》

・カンマ（,）が含まれているシャットダウンスクリプトをロードしてCPUリセットすると、カンマ以降のスクリプトが消える不具合。
【暫定的措置として，シャットダウンスクリプトを作成する際，カンマを使わない記述にしてください。】

・NTPサーバー同期間隔を3580(×10分)以上に設定すると,数秒おきにNTPサーバーへの接続が行われる不具合。
（1.00D以前のFWではこの不具合は生じません）

《特殊FW:1.30A,4.00Aでは既に修正された不具合［1.00E,Fでのみ不具合は生じます］》

・NTPサーバーの設定欄に間違ったIPアドレスが指定されている状態で，本体の電源投入，もしくは[一度も正しく時刻取得できていない状態で]CPUリセットが行われると，ログ記録が開始されず，[温度センサー有効の場合]温度測定が実行されず，[Ping監視が設定してある場合]Ping監視が正常に動作せずに該当OUTLET LEDが点滅状態のままになる不具合。

【NTPサーバーに誤った「ネームアドレス」が指定された場合，またNTPサーバー設定欄が空欄の場合，上記の不具合は起こりません。】

【正しいNTPサーバーを設定して一度時刻取得ができた後，誤ったIPアドレスに指定し直してCPUリセットしても，この不具合は起こりません。】

《1.00Dで既に修正された不具合》

・「設置場所」の末尾に，SHIFT-JISで下位バイトが0x40の文字(例:機,院,邸,宗,①,'　'[全角ｽﾍﾟｰｽ]など)を入れると文字化けする不具合

《1.00Eで既に修正された不具合》

・温度が－0.01℃～－0.99℃のとき，表示される数値がマイナスではなくプラスになる不具合。

・温度監視の通知メールでマイナスの温度を表示する際，「-x.-xx℃」のように小数点の右横にも「-」が表示される不具合。

・ハートビート監視の動作，温度監視の条件，これら両方を同じアウトレットに対して設定し，ハートビート監視有効化後，「温度センサー」また「温度監視」を有効化した時，温度監視優先にならないことがある不具合。

・リブーター側に設定するメールサーバーによっては，メール本文がヘッダー部分に入ってしまう不具合。

・メール制御結果通知メールがログ通知メールと同時に送信される時，（制御に使用されたメールアドレスではなく）「アドレス1」に設定されているメールアドレスに結果通知メールが届く不具合。

・NTPサーバーにホスト名で設定して運用している時，名前解決の際に複数のIPアドレスが知らされた場合，先頭のIPアドレスと紐付けされる。そこで，リブーターと相性が悪く，時刻同期が行えないIPアドレスと紐付けされてしまった場合，「NTPサーバー接続エラー」とログ表示され，またその後も時刻同期できない状態が持続する。（ログ表示は初回のみ。この状態が続く限り，NTP関連のログはその後出てこない。）

《1.00Fで既に修正された不具合》[1.00D以前のFWでは起きません]

・シャットダウンスクリプトの設定において，各アウトレットの「パスワード」（スクリプト実行先にログインするためのパスワード）がCPUリセットをかけた後や本装置の主電源をOFF→ONした後に変更されてしまう不具合。［具体的には《アウトレット1:aaa　アウトレット2:[設定なし]　アウトレット3:bbb　アウトレット4:[設定なし]》としていた場合，CPUリセットをかけると《アウトレット1:aaa,,bbb,　アウトレット2:[設定なし]　アウトレット3:[設定なし]　アウトレット4:[設定なし]》という設定になってしまう。］　（暫定的な対応策：CPUリセットや主電源OFF→ON後に，改めてシャットダウンスクリプトの「パスワード」を設定し直し[適用]して，ご使用ください。）

・SAVEコマンド実行時，シャットダウンスクリプトの内容が表示されない不具合。

【WATCH BOOT L-zero】 型番：RPC-M4LS　最新FW：4.20A.230915

《4.20Aで未修正の既知の不具合》

・カンマ（,）が含まれているシャットダウンスクリプトをロードしてCPUリセットすると、カンマ以降のスクリプトが消える不具合。

【暫定的措置として，シャットダウンスクリプトを作成する際，カンマを使わない記述にしてください。】

・NTPサーバー同期間隔を3580(×10分)以上に設定すると,数秒おきにNTPサーバーへの接続が行われる不具合。

（1.20A以前のFWではこの不具合は生じません）

《1.30A,4.00Aで既に修正された不具合》

・「設置場所」の末尾に，SHIFT-JISで下位バイトが0x40の文字(例:機,院,邸,宗,①,'　'[全角ｽﾍﾟｰｽ]など)を入れると文字化けする不具合
・温度が－0.01℃～－0.99℃のとき，表示される数値がマイナスではなくプラスになる不具合。
・温度監視の通知メールでマイナスの温度を表示する際，「-x.-xx℃」のように小数点の右横にも「-」が表示される不具合。
・手動スイッチのコマンド設定[manuSwCommand]をSNMPでSET/GETできない不具合。
・TELNETにて変数「debTcpInactiveTimer」にマイナス数値が設定できてしまう不具合。
・ハートビート監視の動作，温度監視の条件，これら両方を同じアウトレットに対して設定し，ハートビート監視有効化後，「温度センサー」また「温度監視」を有効化した時，温度監視優先にならないことがある不具合。
・「Realm名」に一定の文字数を超えて設定するとCPUリセットを繰り返してしまう不具合。（暫定対策として，「Realm名」には「半角英数20字以内」で設定していただく）
・リブーター側に設定するメールサーバーによっては，メール本文がヘッダー部分に入ってしまう不具合。
・メール制御結果通知メールがログ通知メールと同時に送信される時，（制御に使用されたメールアドレスではなく）「アドレス1」に設定されているメールアドレスに結果通知メールが届く不具合。
・NTPサーバーにホスト名で設定して運用している時，名前解決の際に複数のIPアドレスが知らされた場合，先頭のIPアドレスと紐付けされる。そこで，リブーターと相性が悪く，時刻同期が行えないIPアドレスと紐付けされてしまった場合，「NTPサーバー接続エラー」とログ表示され，またその後も時刻同期できない状態が持続する。（ログ表示は初回のみ。この状態が続く限り，NTP関連のログはその後出てこない。）

【PoE BOOT nino】　型番：PoE8M2　最新FW：4.20A.230919

《4.20Aで未修正の既知の不具合》

・「PoE機器ポート監視」にて「送信」回数を21回以上に設定し「無効」回数が21回を超えた時，「詳細状態表示」-「PoE詳細情報」の「PoE機器ポート監視」にて「無効」欄にマイナスの数値が表示される不具合。（暫定対策としては「送信」回数は20回以下でご使用ください。）
・カンマ（,）が含まれているPoE制御スクリプトをロードしてCPUリセットすると、カンマ以降のスクリプトが消える不具合。【暫定的措置として，スクリプトを作成する際，カンマを使わない記述にしてください。】
・NTPサーバー同期間隔を3580　以上に設定すると,数秒おきにNTPサーバーへの接続が行われる不具合。
（1.20A以前のFWではこの不具合は生じません）

《1.30A,4.00Aで既に修正された不具合》

・「設置場所」の末尾に，SHIFT-JISで下位バイトが0x40の文字(例:機,院,邸,宗,①,'　'[全角ｽﾍﾟｰｽ]など)を入れると文字化けする不具合
・TELNETにて変数「debTcpInactiveTimer」にマイナス数値が設定できてしまう不具合。
・リブーター側に設定するメールサーバーによっては，メール本文がヘッダー部分に入ってしまう不具合。
・メール制御結果通知メールがログ通知メールと同時に送信される時，（制御に使用されたメールアドレスではなく）「アドレス1」に設定されているメールアドレスに結果通知メールが届く不具合。
・「Realm名」に一定の文字数を超えて設定するとCPUリセットを繰り返してしまう不具合。（暫定対策として，「Realm名」には「半角英数20字以内」で設定していただく）
・NTPサーバーにホスト名で設定して運用している時，名前解決の際に複数のIPアドレスが知らされた場合，先頭のIPアドレスと紐付けされる。そこで，リブーターと相性が悪く，時刻同期が行えないIPアドレスと紐付けされてしまった場合，「NTPサーバー接続エラー」とログ表示され，またその後も時刻同期できない状態が持続する。（ログ表示は初回のみ。この状態が続く限り，NTP関連のログはその後出てこない。）

【SIGNAGE REBOOTER】 型番：RPC-M4HSi　最新FW：4.20A.230915

《4.20Aで未修正の既知の不具合》

・カンマ（,）が含まれているシャットダウンスクリプトをロードしてCPUリセットすると、カンマ以降のスクリプトが消える不具合。
【暫定的措置として，シャットダウンスクリプトを作成する際，カンマを使わない記述にしてください。】

・NTPサーバー同期間隔を3580(×10分)以上に設定すると,数秒おきにNTPサーバーへの接続が行われる不具合。
（1.00AのFWではこの不具合は生じません）

《4.00Aで既に修正された不具合》

・ハートビート監視にて動作「Logのみ」設定時，「詳細状態表示」の「ハートビート状態」にその設定が表示されない不具合を修正。

《1.10Aで既に修正された不具合》

・リブーター側に設定するメールサーバーによっては，メール本文がヘッダー部分に入ってしまう不具合。

・メール制御結果通知メールがログ通知メールと同時に送信される時，（制御に使用されたメールアドレスではなく）「アドレス1」に設定されているメールアドレスに結果通知メールが届く不具合。

・NTPサーバーにホスト名で設定して運用している時，名前解決の際に複数のIPアドレスが知らされた場合，先頭のIPアドレスと紐付けされる。そこで，リブーターと相性が悪く，時刻同期が行えないIPアドレスと紐付けされてしまった場合，「NTPサーバー接続エラー」とログ表示され，またその後も時刻同期できない状態が持続する。（ログ表示は初回のみ。この状態が続く限り，NTP関連のログはその後出てこない。）

・SNMPのTRAP送信有効時，温度監視による電源制御発生時には「schedule(2)」と表示され，またスケジュールによる電源制御発生時には「temperature(3)」と表示されてしまう不具合。

【TIME BOOT mini】　型番：RSC-MT4HS　最新FW：4.20A.230920

《4.20Aで未修正の既知の不具合》

・カンマ（,）が含まれているシャットダウンスクリプトをロードしてCPUリセットすると、カンマ以降のスクリプトが消える不具合。
【暫定的措置として，シャットダウンスクリプトを作成する際，カンマを使わない記述にしてください。】

・NTPサーバー同期間隔を3580(×10分)以上に設定すると,数秒おきにNTPサーバーへの接続が行われる不具合。
（1.10A/1.10S以前のFWではこの不具合は生じません）

《1.00Cで既に修正された不具合》

・HTTP認証None時にダイレクトWEBコマンドが実行できない不具合

・SSHにおいてadmin権限，supervisor権限に同一のIDが設定できてしまう不具合

・「ネットワーク設定-メール設定」において「再接続時間」の単位，×(分)→○(秒)

《1.10Aで既に修正された不具合》

・温度が－0.01℃～－0.99℃のとき，表示される数値がマイナスではなくプラスになる不具合。

・温度監視の通知メールでマイナスの温度を表示する際，「-x.-xx℃」のように小数点の右横にも「-」が表示される不具合。

・ハートビート監視の動作，温度監視の条件，これら両方を同じアウトレットに対して設定し，ハートビート監視有効化後，「温度センサー」また「温度監視」を有効化した時，温度監視優先にならないことがある不具合。

・メール制御結果通知メールがログ通知メールと同時に送信される時，（制御に使用されたメールアドレスではなく）「アドレス

1」に設定されているメールアドレスに結果通知メールが届く不具合。
・「Realm名」に一定の文字数を超えて設定するとCPUリセットを繰り返してしまう不具合。（「Realm名」に不具合を引き起こしかねない文字数を設定できないように修正。）
・「PCのER信号との連携」(WEB上の項目にはない)を「有効」にした状態で接点入力ONになっていると，UPS連動を有効にしていても停電信号を受けてのアウトレットOFFが機能しない不具合。【→「PCのER信号との連携」を有効化できないように修正。】

《SSHシャットダウン対応版FW：1.10Sで既に修正された不具合》

・SSHシャットダウン中にWEB画面の自動更新が発生すると，WEB画面の一部が表示されず自動的に回復もできないため，最新の電源状態などが確認できない状態になる。
・SSHシャットダウン中にWEB画面のボタンをクリックするなど操作を行うと，Warm Startが発生することがある。
・SSHシャットダウン中にWarm Startが発生した場合，その発生タイミングによっては対象PCがシャットダウンされていないにもかかわらず，該当のアウトレットの電源状態がOFFになってしまうことがある。

《4.00Aで既に修正された不具合》

・NTPサーバーにホスト名で設定して運用している時，名前解決の際に複数のIPアドレスが知らされた場合，先頭のIPアドレスと紐付けされる。そこで，リブーターと相性が悪く，時刻同期が行えないIPアドレスと紐付けされてしまった場合，「NTPサーバー接続エラー」とログ表示され，またその後も時刻同期できない状態が持続する。（ログ表示は初回のみ。この状態が続く限り，NTP関連のログはその後出てこない。）
・SNMPのTRAP送信有効時，温度監視による電源制御発生時には「schedule(2)」と表示され，またスケジュールによる電源制御発生時には「temperature(3)」と表示されてしまう不具合。
・本機に電源投入後，一度もWarm Start[本体RESETボタンを押す，またはWEB画面で「CPUリセット」を実行する]をかけない状態で，SSHシャットダウンを実行し，その実行中にWEBブラウザで画面更新などを行うことでWarm Startが発生した場合，全アウトレットの電源状態がOFFになってしまう。

【TIME BOOT】　型番：RSC-MT8FS　最新FW：4.20A.230920

《4.20Aで未修正の既知の不具合》

・カンマ（,）が含まれているシャットダウンスクリプトをロードしてCPUリセットすると、カンマ以降のスクリプトが消える不具合。
【暫定的措置として，シャットダウンスクリプトを作成する際，カンマを使わない記述にしてください。】
・NTPサーバー同期間隔を3580(×10分)以上に設定すると,数秒おきにNTPサーバーへの接続が行われる不具合。
（1.00E/1.01SのFWではこの不具合は生じません）

《1.00Cで既に修正された不具合》

・SSHにおいてadmin権限，supervisor権限に同一のIDが設定できてしまう不具合
・「ネットワーク設定-メール設定」において「再接続時間」の単位，×(分)→○(秒)
・「詳細状態表示-監視状態」において「アウトレット8-対象1-無応答」の部分に「アウトレット4-対象1-無応答」の数値が表示されていた不具合

《1.00Eで既に修正された不具合》

・温度が－0.01℃～－0.99℃のとき，表示される数値がマイナスではなくプラスになる不具合。
・温度監視の通知メールでマイナスの温度を表示する際，「-x.-xx℃」のように小数点の右横にも「-」が表示される不具合。
・デイジーチェーン無効時，8回時刻指定（NTPサーバーによる時刻同期，PCとの時刻同期指定，シリアルやTELNETでのDATE/TIMEコマンド）が実行されるとリンクダウンが起こる不具合
・停電回復時イベントログの不具合

《SSHシャットダウン対応版FW：1.01Sで既に修正された不具合》

・SSHシャットダウン中にWEB画面の自動更新が発生すると，WEB画面の一部が表示されず自動的に回復もできないため，最新の電源状態などが確認できない状態になる。

・SSHシャットダウン中にWEB画面のボタンをクリックするなど操作を行うと，Warm Startが発生することがある。

・SSHシャットダウン中にWarm Startが発生した場合，その発生タイミングによっては対象PCがシャットダウンされていないにもかかわらず，該当のアウトレットの電源状態がOFFになってしまうことがある。

《4.00Aで既に修正された不具合》

・メール制御結果通知メールがログ通知メールと同時に送信される時，（制御に使用されたメールアドレスではなく）「アドレス1」に設定されているメールアドレスに結果通知メールが届く不具合。

・「PCのER信号との連携」(WEB上の項目にはない)を「有効」にした状態で接点入力ONになっていると，UPS連動を有効にしていても停電信号を受けてのアウトレットOFFが機能しない不具合。

・接点出力状態変化のメール通知有効時，「接点出力名」と「接点出力OFF時メッセージ」（または「接点出力ON時メッセージ」）の合計が半角33字以上に設定していると，通知メールの件名が空白になってしまう不具合。

・接点入力状態変化のメール通知有効時かつ接点入力が「レベル」設定時，「メール設定」-「送信条件フラグ」-「接点入力状態変化通知」の設定が効かず，常に通知が届く不具合。（「パルス」設定の時には不具合はありません）

・NTPサーバーにホスト名で設定して運用している時，名前解決の際に複数のIPアドレスが知らされた場合，先頭のIPアドレスと紐付けされる。そこで，リブーターと相性が悪く，時刻同期が行えないIPアドレスと紐付けされてしまった場合，「NTPサーバー接続エラー」とログ表示され，またその後も時刻同期できない状態が持続する。（ログ表示は初回のみ。この状態が続く限り，NTP関連のログはその後出てこない。）

・SNMPのTRAP送信有効時，温度監視による電源制御発生時には「schedule(2)」と表示され，またスケジュールによる電源制御発生時には「temperature(3)」と表示されてしまう不具合。

・本機に電源投入後，一度もWarm Start[本体RESETボタンを押す，またはWEB画面で「CPUリセット」を実行する]をかけない状態で，SSHシャットダウンを実行し，その実行中にWEBブラウザで画面更新などを行うことでWarm Startが発生した場合，全アウトレットの電源状態がOFFになってしまう。

【POSE】　型番：SE10-8A7B1　最新FW：1.30A.230929

《1.30Aで未修正の既知の不具合》

・カンマ（,）が含まれているシャットダウンスクリプトをロードしてCPUリセットすると、カンマ以降のスクリプトが消える不具合。
【暫定的措置として，シャットダウンスクリプトを作成する際，カンマを使わない記述にしてください。】

・NTPサーバー同期間隔を3580(×10分)以上に設定すると,数秒おきにNTPサーバーへの接続が行われる不具合。
（1.20A以前のFWではこの不具合は生じません）

《1.10Aで既に修正された不具合》

・「イベントログ」でのMSOFのログ表示不具合。

・「設置場所」の末尾に，SHIFT-JISで下位バイトが0x40の文字(例:機,院,邸,宗,①,'　'[全角ｽﾍﾟｰｽ]など)を入れると文字化けする不具合

・モバイルルーターなどでDHCPによるアドレス取得不具合

《1.20Aで既に修正された不具合》

・メール通知で「タイトル」に「イベント内容」を設定した場合に，通知の内容によってはCPUリセットがかかりメールが送信されない不具合。

・イベントログにて「死活判定(無動作)」が表示されない不具合。
・子機→親機の接点情報延長機能有効時に，親機-子機間の通信に切断があり，その最中に子機の接点入力状態が複数回変化した場合，通信回復時に最初の変化のみ親機に送信され，2回目以降の変化が送信されない不具合。
・接点情報延長モードで動作しているとき，遠隔接点出力をOFFにすると（子機から親機の接点出力をコマンドでOFFにする），メール通知の「イベント内容」が接点出力ONではなく接点入力OFFの時のものになっている不具合。
・接点情報延長モードで動作しているときのイベントログで「他局切断」で記録されるIPアドレス表示の不具合。
・接点情報延長モードで動作しているときのイベントログで，親機/子機間の死活監視が「無効」に設定されていると，親機/子機間の通信が接続されたとき子機に「接続」のログが記録されない不具合
・PING送信画面で，測定先アドレスを指定しないままPING確認を行うとエラー終了せず「測定中」のままになる不具合。

《1.30Aで既に修正された不具合》

・TELNETにて変数「debTcpInactiveTimer」にマイナス数値が設定できてしまう不具合。
・接点情報延長モードにおいて，親機単体としては接点入力を「パルス」設定にしていても，連動する子機へは「レベル」として通知し作動する不具合。
・NTPサーバーにホスト名で設定して運用している時，名前解決の際に複数のIPアドレスが知らされた場合，先頭のIPアドレスと紐付けされる。そこで，リブーターと相性が悪く，時刻同期が行えないIPアドレスと紐付けされてしまった場合，「NTPサーバー接続エラー」とログ表示され，またその後も時刻同期できない状態が持続する。（ログ表示は初回のみ。この状態が続く限り，NTP関連のログはその後出てこない。）
・ダイレクトWEBコマンドでPOSコマンド実行後，HTML形式では正しく結果表示されない不具合。

【REBOOTER】　型番：RPC-5NC　最新FW：4.20A.230919

《未修正の既知の不具合》

・カンマ（,）が含まれているシャットダウンスクリプトをロードしてCPUリセットすると、カンマ以降のスクリプトが消える不具合。
【暫定的措置として，シャットダウンスクリプトを作成する際，カンマを使わない記述にしてください。】
・NTPサーバー同期間隔を3580(×10分)以上に設定すると,数秒おきにNTPサーバーへの接続が行われる不具合。

《4.10Aで既に修正された不具合》

・SNMP TRAPにて，Port監視「正常/回復中」が表示できなかった不具合。
・「詳細状態表示」-「その他詳細」-「Port監視状態」にて「無効」に負の数が表示されることがある不具合。

【REBOOTER】　型番：RPC-5NCSi　最新FW：4.20B.231117

《未修正の既知の不具合》

・NTPサーバー同期間隔を3580(×10分)以上に設定すると,数秒おきにNTPサーバーへの接続が行われる不具合。

《4.20Bで既に修正された不具合》

・カンマ（,）が含まれているシャットダウンスクリプトをロードしてCPUリセットすると、カンマ以降のスクリプトが消える不具合。
【暫定的措置として，シャットダウンスクリプトを作成する際，カンマを使わない記述にしてください。】
・NTPサーバー同期間隔を3580　以上に設定すると,数秒おきにNTPサーバーへの接続が行われる不具合。

以上

明京電機株式会社